

かたらんね〜

須恵町のスポーツ団体・文化団体を紹介します。みなさんも一緒にやってみませんか？

第8回 茶道部(九艶の会)

8回目は、日本の和の伝統として、最も代表的な茶道について、文化協会から、表千家 九艶の会取材しました。

表千家 九艶の会とは

平成26年当時、「まなびっく」の教室がきっかけとなり、翌平成27年から「表千家 九艶の会」として活動が始まりました。

現在、合屋宗艶先生を中心に、10人で毎週第2・4金曜日10時～12時まで、アザレアホール3階の茶室で学んでいます。興味のある方は、ぜひご参加下さい。

茶道とは

抹茶は、約800年前に中国から伝わり、当初は薬として飲まれていたものが、しだいに客を招き、菓子とともにお茶をもてなすようになりました。

これが「茶の湯」の文化の始まりです。

現在に伝わる茶の湯の基礎をつくったのは千利休です。戦国武将のたしなみとして大成しました。

茶の湯の道具として茶碗、茶器、茶杓、服紗、水指、釜、柄杓などがあり、これらを拝見することも重要な意味を持ちます。



また、茶の湯には、お茶の点て方、いただき方、座り方、礼の仕方、立ち方、歩き方などの立ち居振る舞いにも色々な約束事があり、これを作法といいます。

特にお茶を点てることを点前といい、このような作法は、長い歴史の中で工夫が重ねられてできたものです。

茶道を通じて

友達の輪が広がり、人に会う為のたしなみを楽しむようになりました。

外国の方に日本の文化を伝えると大変喜ばれます。

議会だよりについて

縦・横のバランスが良くて見やすい(読みやすい)。表紙が子どもさんと元気もらえるとの感想をいただきました。



宗艶先生(右から3番目)と共に



松尾千代子さん 合屋弘子さん

お二人にお話を伺いました。茶道を始めて着物を着る機会が増え、自分で着付けができるようになったそうです。

編集後記

第35回町議会広報全国コンクールにおいて、213号が応募総数311町議会の中から上位10紙に選ばれ、優良賞を受賞しました。これまでも、表紙写真では189号が奨励賞、193号・203号で金賞を受賞していますが、総合評価での入選は初めての受賞となります。

議会での審議内容や一般質問、追跡記事に加え、212号から新企画として町のスポーツや文化団体を紹介する「かたらんね」や特集で各種団体との座談会を載せています。

また、予算や決算のページでは住民の方々のコメントを載せています。

これからも、町民の皆さまに楽しみに読んでいただけるよう、見やすく分かりやすい紙面づくりに取り組んでまいります。

今村 桂子

発行責任者

議長：松山 力弥

広報特別委員会

委員長：田ノ上 真

副委員長：今村 桂子

委員：三角 栄重

委員：稲永 辰己